
足りないないんだ

あい仔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

足りないないんだ

【Nコード】

N0117Y

【作者名】

あい仔

【あらすじ】

題名はお題サイトより

座敷わらしや河童が見えなくなった菊の話

置いていかれるのが嫌なのは、誰なのか
はたまた誰なのか

なにが？

足りないの

アーサーさんが私をよぶ

「菊？」

私はその声に振り替える

「どうなされたんですか？」

そうしたら、アーサーさんは何かを言いかけて口を閉ざした

そして、私をじっとみる

否、私の後ろにある何かを

「なあ、菊。本当に覚えてないのか？」

「何をですか？」

「その…じゃあ…お前には見えてないんだな…」

私にはアーサーさんの言い分が何もわからなかった

「菊、じゃあこれをやるよ」

渡されたのは一つの毬

使い古されていて、色が褪せていた

「これは…？アーサーさんの国の物では無いですよね？」

「ああ、俺のじゃない。そしてお前のものでもない」

では、誰の？いいかけた瞬間、私の目から涙が溢れた

「なんで…？」

後から後からそれは絶え間なく溢れかえる

「それはな…菊。」

「お前が棄てたということ事態も忘れてしまったからさ」

だって

だって

置いていかれるのが嫌なのは御互い様じゃない

私の何が足りないの

(後書き)

国を開いてしまった

世界に遅れをとっては駄目なんだ

だから君を連れていけない

ごめんね

ごめんね

(そうしたら私の目に見えるものは余りに虚しいものとなった)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0117y/>

足りないないんだ

2011年10月29日05時23分発行